

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

Volume 36
Number 2
December 2014



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表紙の言葉

安威川の上流域

写真・文 上原 一彦

安威川は、大阪府の北摂地域を流れる一級河川で、その上流域には特別天然記念物のオオサンショウウオをはじめ、絶滅危惧種のアジメドジョウ（環境省：絶滅危惧II類，大阪府：絶滅危惧I類）など希少な水生生物が多数生息している。大阪府は「大阪府レッドリスト2014」において、生物多様性ホットスポット最上位のAランクに選定しているものの、現在、同じく府により、治水を主目的とした多目的ダムの建設も進められている。ダムの建設は、水生生物のみならず周辺地域の生物多様性に対して大きな影響を及ぼすため、有効な対策が望まれる。

写真：2014年11月24日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。